

総合地球環境学研究所「博物館・展示を活用した最先端研究の可視化・高度化事業」
2019年度報告会 プログラム

日時:2020年3月2日(月)13:00~17:05

場所:総合地球環境学研究所 講演室

時間	発表時間(分)	取組名称	報告者
13:00 ~ 13:05	5	趣旨説明	近藤康久
13:05 ~ 13:15	10	報告1:ニホンミツバチに関する映像資料作成と、超学際研究プラットフォームへの展開	真貝理香
13:15 ~ 13:25	10	報告2:TD研究による「異なる回路」の発見プロセスの可視化—環境トレーサビリティプロジェクトホームページ作成の現場から	中原聖乃
13:25 ~ 13:35	10	報告1・2の質疑応答	
13:35 ~ 13:45	10	報告3:Communicating core environmental concepts through infographics and graphic recording	Christoph Rupprecht (代理:真貝理香)
13:45 ~ 13:55	10	報告4:Interactive Food Fiction Installation Project	小林舞
13:55 ~ 14:05	10	報告3・4の質疑応答	
14:05 ~ 14:15	10	報告5:Making the invisible visible: seeing alternative food systems by collaborative online mapping with civic food projects	Maximilian Spiegelberg (代理:近藤千嘉)
14:15 ~ 14:25	10	報告6:日本の消費が引き起こす環境問題の可視化	金本圭一朗
14:25 ~ 14:35	10	報告5・6の質疑応答	
14:35 ~ 14:45	10	休憩	
14:45 ~ 14:55	10	報告7:ゲームジャム型ワークショップを通じた超学際研究プロセスの可視化	太田和彦
14:55 ~ 15:05	10	報告8:東ティモールの地域住民との協働による“シビックプライド”醸成のための映像作成	阿部健一 (代理:嶋田奈穂子)
15:05 ~ 15:15	10	報告7・8の質疑応答	
15:15 ~ 15:25	10	報告9:地域に根ざした豊かな自然の恵みと防災減災の両立とは?:高質映像による地域協働の深化と国内外への発信	吉田丈人
15:25 ~ 15:35	10	報告10:子どもから地域へ、映像でひろがるサニテーション	山内太郎
15:35 ~ 15:45	10	報告9・10の質疑応答	
15:45 ~ 15:55	10	報告11:文化の記録・継承における開かれた関与を可能にする実践と理論化—食と方言の動画作成と双方向展示を通して	熊澤輝一
15:55 ~ 16:05	10	報告12:民の世界—大学と地域の連携による記憶・技術・風土の継承	三村豊
16:05 ~ 16:15	10	報告13:地球環境学研究に基づいた映像人類学作品の共創と循環	金セツピョル
16:15 ~ 16:25	10	報告11・12・13の質疑応答	
16:25 ~ 17:05	40	総合討論	